



県評しづおか

静岡県労働組合評議会

〒420-0851

静岡市葵区黒金町55番地

交通ビル3階

TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

Eメール kenpyo@cy.tnc.ne.jp

**攻撃型ミサイル配備
反対の1点で共闘を**

攻撃型ミサイル配備に
反対する会準備会

12月7日静岡市内において幅広い団体・市民で
つくる「会」の結成準備会が開催されました。会場には100人を超える参加者が集まりました。
（東富士駐屯地への攻撃型ミサイル配備反対のみ）

の一点で「会」を結成することを目的として開催されました。

集会では最初に、自由法曹団の小笠原弁護士が

「原発推進を狙う政府に、怒りの声を上げていこう」と訴えました。

柏崎刈羽原発の再稼働の動きに触れ、国と東電は反対や懸念を示す県民世論をお金で押さえつけようとしていると告発。

「原発推進を狙う政府に、怒りの声を上げていこう」と訴えました。

柏崎刈羽原発の再稼働に対する横断幕を掲げ、市街地をパレードしました。

新潟県知事が11月21日に再稼働を容認する方針を表明しました。柏崎刈羽原発の再稼働について、新潟県が実施した県民アンケートにおいて「再稼働の条件は整っているか」との設問に対し県民の6割が「そうは思わない」「どちらかといえばそうは思わない」と回答しています。

柏崎刈羽原発では、核防護上の不祥事による運転停止と訴えました。続いて現地の状況を地元の「東富士住民の会」の渡邊希一さんが報告。また熊本のミサイル配備計画に至るなど講演し、最後に「戦争を起こさせないように行動するチャンスは今しかない。全国の大軍拡反対の運動と連帯し、静岡でも県民の力で長射程ミサイル配備反対のみ」

講演する小笠原弁護士



挨拶する林克実行委員長

浜岡原発の再稼働を許さない!

11.16ひまわり集会inしづおか

集会では実行委員長の林克氏が「浜岡原発の再稼働に向けた審査が原子力規制委員会で進んでいますが、まったく見通しが立っていない。廃炉しかありません」と訴えました。その上で「浜岡原発に大きく影響する柏崎刈羽原発の再稼働反対の声を静岡からあげよう」と訴えました。

柏崎刈羽原発の再稼働の動きに触れ、国と東電は反対や懸念を示す県民世論をお金で押さえつけようとしていると告発。「原発推進を狙う政府に、怒りの声を上げていこう」と訴えました。その後「再稼働反対」「浜岡原発を廃炉に」との横断幕を掲げ、市街地をパレードしました。

新潟県知事が11月21日に再稼働を容認する方針を表明しました。柏崎刈羽原発の再稼働について、新潟県が実施した県民アンケートにおいて「再稼働の条件は整っているか」との設問に対し県民の6割が「そうは思わない」「どちらかといえばそうは思わない」と回答しています。

柏崎刈羽原発では、核防護上の不祥事による運転停止と訴えました。続いて現地の状況を地元の「東富士住民の会」の渡邊希一さんが報告。また熊本のミサイル配備計画に至るなど講演し、最後に「戦争を起こさせないように行動するチャンスは今しかない。全国の大軍拡反対の運動と連帯し、静岡でも県民の力で長射程ミサイル配備反対のみ」

中部電力浜岡原発の再稼働に反対する「ひまわり集会inしづおか」が11月16日、静岡市内で行われました。新潟県で東京電力柏崎刈羽原発の再稼働を巡る動きが加速する下、集まった500人は「静岡から、柏崎刈羽と浜岡の原発再稼働に反対する声を上げていこう」とアピールしました。

と呼びかけました。

前湖西市長の三上元さんや原発を取り上げたドキュメンタリー映画監督の早川由美子さんや、美術作家の土屋聰さんがスピーチしました。

集会の最後に「世界一危険な浜岡原発の再稼働を許さず、廃炉の声を上げましょ

う」とのアピールを採択しました。

その後「再稼働反対」「浜岡原発を廃炉に」との横断幕を掲げ、市街地をパレードしました。

新潟県知事が11月21日に再稼働を容認する方針を表明しました。柏崎刈羽原発の再稼働について、新潟県が実施した県民アンケートにおいて「再稼働の条件は整っているか」との設問に対し県民の6割が「そうは思わない」「どちらかといえばそうは思わない」と回答しています。

柏崎刈羽原発では、核防護上の不祥事による運転停止と訴えました。続いて現地の状況を地元の「東富士住民の会」の渡邊希一さんが報告。また熊本のミサイル配備計画に至るなど講演し、最後に「戦争を起こさせないように行動するチャンスは今しかない。全国の大軍拡反対の運動と連帯し、静岡でも県民の力で長射程ミサイル配備反対のみ」

講演する小笠原弁護士

北地方の（裏面に続く）

日に会の結成集会をあざれあにて13時30分から開催する事を決定しました。

11月16日と12月6日に静岡駅地下通路で「ケア労働者の賃上げアクション」を行いました。16日の行動には県評・自治労連・医労連・福保労・聖

労組から19名が参加。

専門職でありながら、賃金が低く責任ばかりが重くのし掛かる現状を訴えながら、チラシ・署名

の協力を求めました。横

隸労組から19名が参加。

専門職でありながら、賃金が低く責任ばかりが重くのし掛かる現状を訴えながら、チラシ・署名

雇用形態の枠を越えた運動を

はたらくみんなの元気の出る集会

パート臨時労組連絡会

静岡県評のパート臨時労組連絡会は11月9日に開催しました。集会では毎日新聞社社会部記者東海林智氏が「低賃金は雇用社会に何をもたらしたか」と題した講演を行いました。

学習講演に先立ちパート臨時労組連絡会の総会を行い、2025年度の活動報告と2026年度の活動計画、会計報告・予算案提案、役員体制（代表・菊池仁県評議長）を提案し、会場の拍手により承認されました。

学習講演で、東海林智さん（毎日新聞社記者）は、講演する東海林記者

最低賃金をめぐる動きから、2008年の派遣村、コロナ禍、物価高の下で増大した非正規労働者の問題、今広がっている「スキマバイト」の問題にまで触れました。「スキマバイト」は、究極の人件費削減策であると断じました。

非正規労働者の増大が労働者の分断を生み、労働組合の組織化の低下をもたらしました。労働者の分断はハラスメント、過労死を増大させました。ストで闘う労組も減り、労働者の主張は弱く、事業者のいいなりにならなければならぬ労働者が多くなっています。しかし「自分の体は自分で守る」ためには仲間が必要でした。

史氏が報告しました。ドイツでは、2023年に就労可能な人を対象とする生活保護制度が市民手当に転換しました。給付額は毎年改定され、物価急上昇に対応し、給付額を大幅に引き上げました。また安心して尊厳を保つて利用できるよう、受給後1年間は資産・住宅に関する猶予期間を設定しました。猶予期間中、相当な資産（720万円、世帯員1名につき270）

万円追加）を保有容認し、自動車の適切性規制を簡素化し、一人あたり1台の保有を認めています。

受給者に対し、面談での義務や制裁を押し付けるのをやめ、この先何をめざし、どんな支援をうけようとしています。

日本では2008年リ

マンショックの後、生活保護受給者が増加し、生活保護バッシングが行わ

り、労働組合の活動が期待されます。現場での取材を基にした講演内容は説得力があり、聞き入っていました。

講演の後5つの職場

（自治労連・高教組・全教

静岡・ユーロープ・福保労

からの報告がありました。

どの職場にも共通しているのは、「人手不足」です。

人材確保ができない中で、職務は日々厳しくなっています。

賃金も思うように上がらず、生活が厳しくなっていく中で、労働条件の改善に取り組む必要があります。

2025秋闇、2026春闇ではストも辞さない覚悟で労働条件の改善に取り組む必要があります。

秋田県や群馬県で発効日が3月になるなど地方で格差が生じるものとなりました。要請に参加した秋田県労連の伊藤事務局長は、発行日も11月1日になつたのか、発行かない」と述べました。

静岡県評の上野事務局長は、静岡地方最低賃金審議会の公開状況に触れ、「静岡ではどのような議論で目安通りとなつたのか、発行

11月29日、静岡県革新懇（平和・民主・革新の日本をめざす静岡県の会）の総会と講演会が行われました。講師は全国革新懇代表世話人の石川康宏さん。

石川さんは、はじめに論点を8つ提起、「①自公の過半数割れは、岩盤保守・極右が「移動」またネット力で若者の期待を引きつけた。これが増加したわけではない。

②自民政治への市民の批判が効いた。世論の力。③高市総裁選出は極右の支持回復をめざしているが、市民の願いと逆行。④国民民主・参政党も、若者の支持を失うから、すぐに連立には行けない。⑤窮地にあるからこそ、政治の暴走と強権化の可能性があり、抵抗の力が必要。⑥国民党・参政黨の台頭は、貧困と格差を自己責任論だけでなく、怒りの矛先をいにえ（高齢者・主張する女性、外国人）に向けさせたから。⑦いかにえを（欧米以外の）外国人に設定し、極右の活性化、

11月29日、静岡県革新懇第36回総会は、静岡県革新懇（平和・民主・革新の日本をめざす静岡県の会）の総会と講演会が行われました。講師は全国革新懇代表世話人の石川康宏さん。

石川さんは、はじめに論点を8つ提起、「①自公の過半数割れは、岩盤保守・極右が「移動」またネット力で若者の期待を引きつけた。これが増加したわけではない。